

Soundgenic

取扱説明書

はじめに

各部の名前と機能

設置する

楽曲を入れる

楽曲を再生する

ウォークマン[®](DAP)と使う

Spotifyを楽しむ

バックアップする

動作環境/仕様

お守りください

困ったときには

アフターサービス

レシートや納品書は大切に保管してください。
修理時に保証期間を確認するために必要です。

もくじ

はじめに	3	Spotifyの音楽を楽しむ	39
Soundgenicの使用目的	3	楽曲をバックアップする	40
添付品を確認する	4	USB HDDをバックアップ	
取扱説明書の構成	5	用として登録する	40
各部の名前と機能	6	USB HDD (バックアップ	
設置する	8	用) から楽曲を復元する	43
楽曲を入れる	11	動作環境/仕様	47
e-onkyo musicから入れ		お守りください	48
る	12	安全のために	48
moraから入れる	15	使用上のご注意	52
音楽CDから入れる	18	困ったときには	54
USBメモリーやUSB HDD		アフターサービス	57
から入れる	23	お問い合わせについて	58
Windowsから入れる	26	修理について	59
macOSから入れる	28	ハードウェア保証規定	60
空き容量を確認する	30		
楽曲を再生する	31		
ウォークマン®など(DAP)			
と使う	35		

はじめに

Soundgenicに関する情報をご説明します。

Soundgenicの使用目的

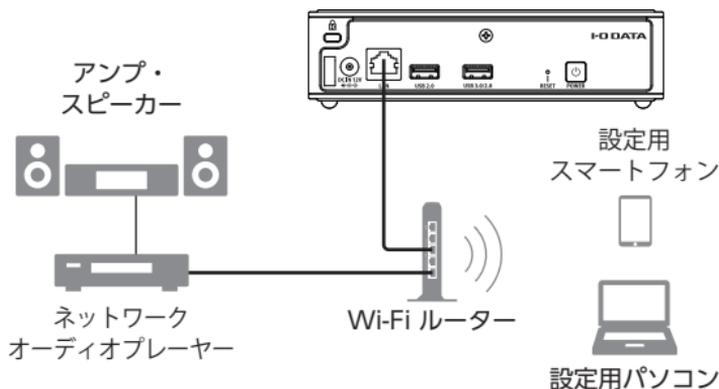
Soundgenicは、ホームネットワークを介してネットワークオーディオ機器に楽曲を配信するネットワークオーディオサーバーです。

楽曲を保存し、ネットワークオーディオ機器で楽曲を鑑賞できます。

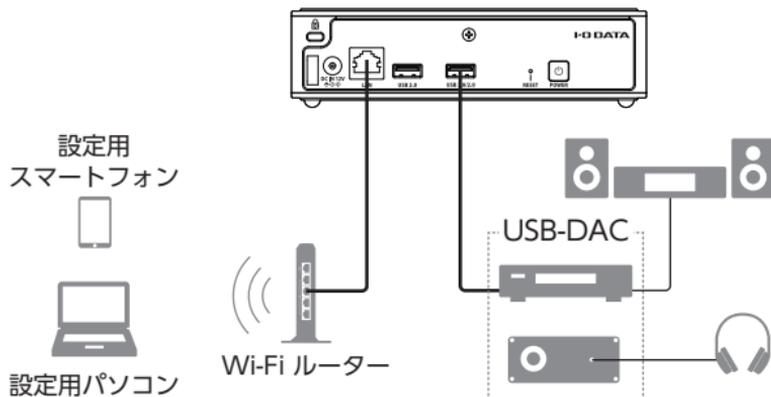
また、USB-DACをつなぐことで、Soundgenicをネットワークオーディオプレーヤーとして使うこともできます。

ネットワークだけでなく、DAPへダイレクトに転送できるデータストレージとして使うこともできます。

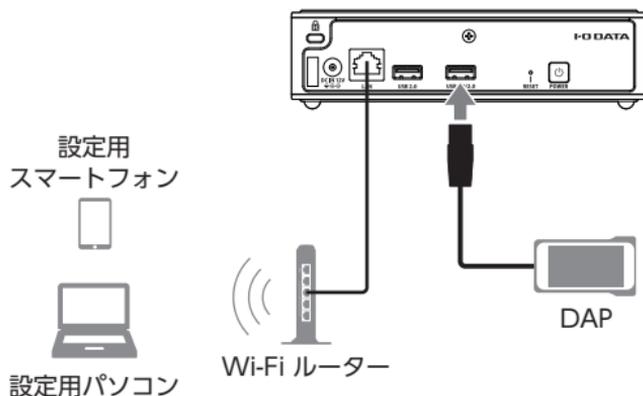
● ネットワークオーディオサーバーとしての接続イメージ



- ネットワークオーディオプレーヤーとしての接続イメージ (USB-DAC)



- データストレージとしての接続イメージ (DAP)



添付品を確認する

- ACアダプター (ACアダプター、ACコード)
- LANケーブル
- ケーブルフック
- 取扱説明書(本書)

取扱説明書の構成

Soundgenicの取扱説明書には、次のものがあります。

- 取扱説明書(本書)：
Soundgenicの基本的な使い方が説明されています。
- 詳細ガイド：
Soundgenicを設置した後、より詳細な説明を求める場合は、インターネット上の詳細ガイドをご覧ください。
説明例：楽曲をバックアップする、Soundgenicを最新の状態にする、設定画面の項目説明、困ったときには(FAQ) など

これらの取扱説明書は、下記Webサイトからご覧になれます

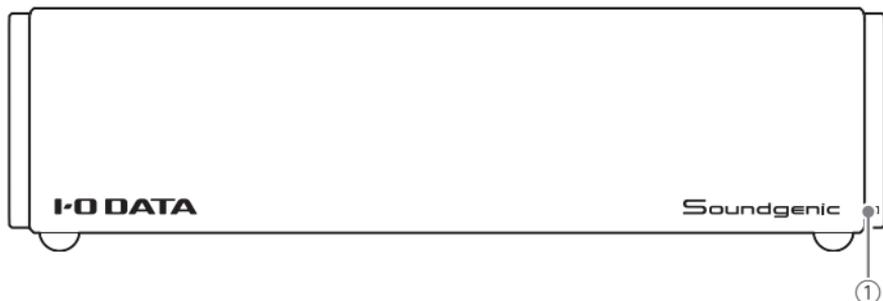
<https://www.iodata.jp/p/166273>

※ URLはHDL-RA2HFのものですが、リンクされている取扱説明書はSoundgenic共通です。



各部の名前と機能

▼ 前面



- ① ランプ 緑点灯：動作中(電源が入)
緑点滅：起動・終了中、設定処理中、
音楽CD認識中
赤点灯：エラー発生中
橙点灯：新しいファームウェアを検知
橙点滅：ファームウェアを更新中
消 灯：電源が切

赤点灯したら

内蔵ディスクの異常、USB HDDが見つからない、バックアップ用USB HDDの容量不足が考えられます。

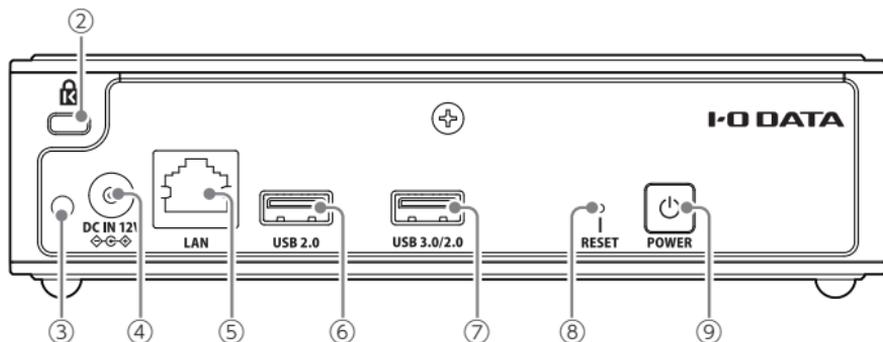
USB HDDを取り外しても解決しない場合は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

橙点灯したら

電源を切る操作をしてください。ファームウェアの更新が始まります。

電源ランプが消灯するまで、電源の供給を止めないでください。

▼ 背面



- ② セキュリティスロット..... 盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。
- ③ ケーブルフックホール..... 添付のケーブルフックを取り付けます。
- ④ 電源コネクタ 添付のACアダプターをつなぎます。
- ⑤ LANポート LANケーブルでWi-Fiルーターとつなぎます。
- ⑥ USB 2.0ポート USBデバイスをつなぎます。
- ⑦ USB 3.0/2.0ポート USBデバイスをつなぎます。
- ⑧ RESET ボタン 一部の設定を購入時に戻します。
- ⑨ 電源ボタン 電源を入/切します (10 ページ)。

USBポートの選び方

基本的にどちらのUSBポートを使っても問題ありません。

USB-DACでの再生に問題がある場合は、USBポートを変えてみてください。

設定の初期化方法 (RESET ボタン)

ピンなどの先の細いものでRESET ボタンを1秒間押し続けてください。

以下の設定がご購入時の状態に戻ります。

- IPアドレス (DHCP有効/無効)、Twonky Serverのデータベース、
- CD取り込み用の作業フォルダーの内容

設置する

スマートフォン/タブレット用I-O DATA製コントロールアプリ [fidata Music App] の指示に従いながら、Soundgenic を設置します。

fidata Music Appをインストールする

お使いのスマートフォン/タブレットでApp Store/Google Playストアを開き、[fidata Music App] をインストールしてください。

1 fidata Music Appを起動する

2

利用規約

ソフトウェア利用規約

ソフトウェア利用規約（以下「本規約」といいます）は、株式会社アイ・オー・データ機器（以下「当社」といいます）が提供する本ソフトウェアの利用に関する条件、および当社と利用者との間の権利義務関係を定めるものです。本ソフトウェアの利用に際しては、本規約の全文をお読みいただいたうえで、本規約に同意いただく必要があります。本ソフトウェアをご利用いただく場合、利用者は本規約に同意したものとみなします。

第1条（定義）

(6) 「パスワード等」とは、本ソフトウェアに関するユーザー名、パスワード等（PINコード、QRコード等を含みます）を意味します。

第2条（適用）

1. 本規約は、別段の定めのない限り、本ソフトウェアの利用に関わる当社と利用者の一切の関係に適用されます。

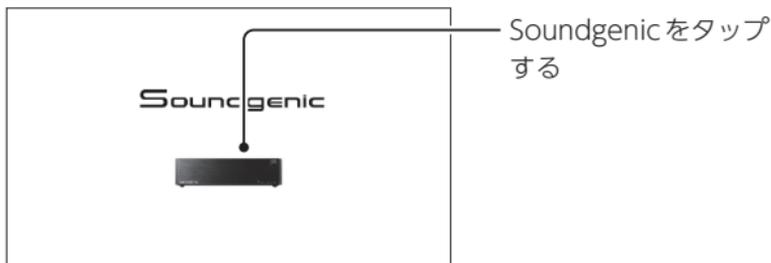
2. 当社が本ソフトウェアの画面または当社ウェブサイト上に掲載する

同意する

よく確認する

問題なければ、[同意する]をタップする

3



4 Soundgenicの設置方法が案内されるので、画面の指示に従う



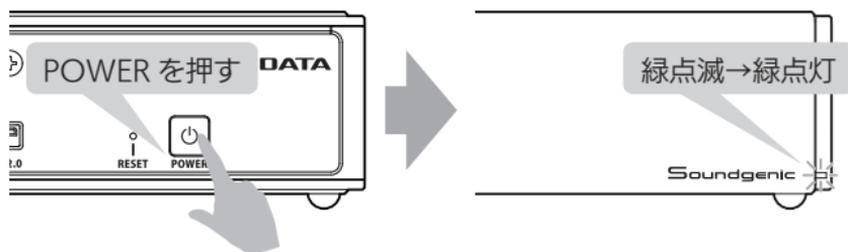
DAPのデータストレージとしてだけ使う方へ (ネットワークオーディオプレーヤーやUSB-DACを使わない場合)

ネットワークオーディオプレーヤーやUSB-DACとつなぐ手順は読み飛ばしてください。また、レンダーラを選ぶ画面では何も選ばずに[次へ]をタップしても問題ありません。

以上で、設置は完了です。

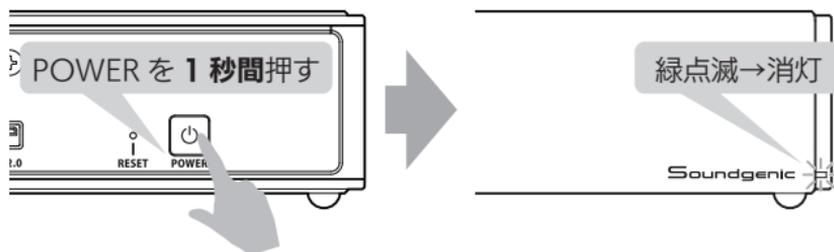
次回以降に電源を入れる方法

背面の電源ボタン(POWER)を押します。
⇒ランプが緑点滅し、緑点灯したら起動完了です。



電源を切る方法

背面の電源ボタン(POWER)を1秒間押し続けます。
⇒ランプが緑点滅し、消灯したら停止完了です。



●電源が切れるまで時間がかかります

ランプが消灯するまで、ACアダプターを抜いたり、電源タップのスイッチをオフにしたりしないでください。

楽曲を入れる

e-onkyo musicから入れる..... 12

ハイレゾ音楽配信サイト e-onkyo music で購入した楽曲を、自動的に Soundgenicに入れます。

moraから入れる 15

音楽ダウンロード・音楽配信サイト mora で購入した楽曲を、自動的に Soundgenicに入れます。

音楽CDから入れる..... 18

USB CD/DVD/BDドライブをつないで、音楽CDの楽曲を Soundgenicに入れます。

USBメモリーやUSB HDDから入れる 23

USBメモリーやUSB HDDに保存した楽曲を Soundgenicにコピーします。

Windowsから入れる..... 26

Windowsパソコンに保存されている楽曲を Soundgenicにコピーします。

macOSから入れる 28

Macに保存されている楽曲を Soundgenicにコピーします。

空き容量を確認する 30

Soundgenicの空き容量を確認します。

詳細ガイド▶



e-onkyo music から入れる

ハイレゾ音楽配信サイト e-onkyo music で購入した楽曲を、自動的に Soundgenic に入れます。

● e-onkyo music にメンバー登録する

まず、e-onkyo music にアクセスし、[ログイン] からメンバー登録します。

<https://www.e-onkyo.com/music/>

※ このサイトでの操作については、e-onkyo music にお問い合わせください。

保存される内容

楽曲ファイルは、Soundgenic の以下の場所に保存されます。
contents > [e-onkyo] の中

● 設定する

Soundgenic を e-onkyo music と関連付けします。購入した楽曲を自動的にダウンロードするようになります。

1 fidata Music App を起動する

2



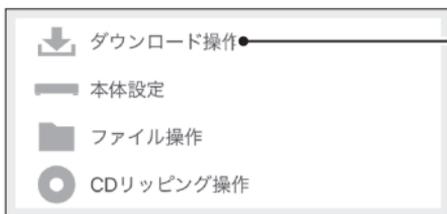
左下の  をタップする
※ 左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

3



グレー部分をタップする
※ タップできない場合は、グレー下の [RA] または [RAHF] をタップします。

4



[ダウンロード操作] を
タップする

5



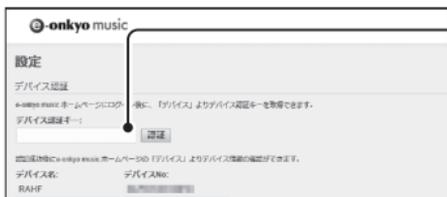
[e-onkyo music] を
タップする

6



[設定画面へ] をタップ
する

7

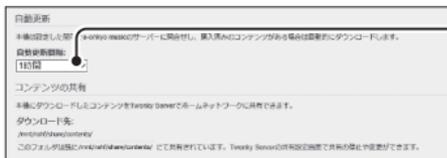


デバイス認証キーを入力し、
[認証] をタップする

デバイス認証キーを入手する方法

- ① e-onkyo music のWeb サイトにログインする
- ② [デバイス] をタップする
- ③ [デバイス認証キー表示] をタップする
⇒ デバイス認証キーが表示されます。

8



「自動更新間隔」を設定する

● Soundgenic に楽曲を入れる

1 e-onkyo music の Web サイトで楽曲を購入する

2 Soundgenic が楽曲を自動的にダウンロードする

- ※ 楽曲の購入は、「更新間隔」毎に確認されます。
Soundgenic の電源を入れたままにしておいてください。

すぐダウンロードしたい / ダウンロード状況を確認したい

fidata Music App で操作して、ダウンロードを促すことができます。
また、同じ画面でダウンロードの状況もこの画面で確認できます。
詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。



これで Soundgenic に楽曲が入りました。

moraから入れる

音楽ダウンロード・音楽配信サイト mora で購入した楽曲を、自動的に Soundgenic に入れます。

● mora にメンバー登録する

まず、mora にアクセスし、[ログイン] からメンバー登録します。

<https://mora.jp/>

※ このサイトでの操作については、mora にお問い合わせください。

保存される内容

楽曲ファイルは、Soundgenic の以下の場所に保存されます。
contents > [mora] の中

● 設定する

Soundgenic を mora と関連付けします。購入した楽曲を自動的にダウンロードするようになります。

1 fidata Music App を起動する

2



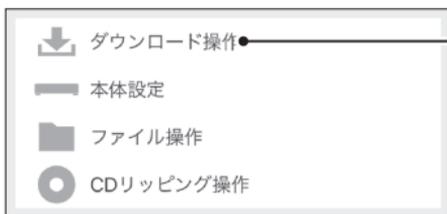
左下の  をタップする
※ 左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

3



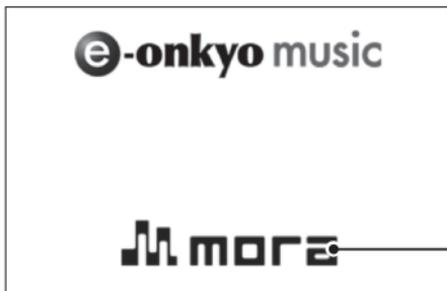
グレー部分をタップする
※ タップできない場合は、グレー下の [RA] または [RAHF] をタップします。

4



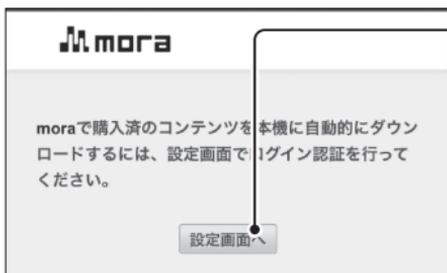
[ダウンロード操作] を
タップする

5



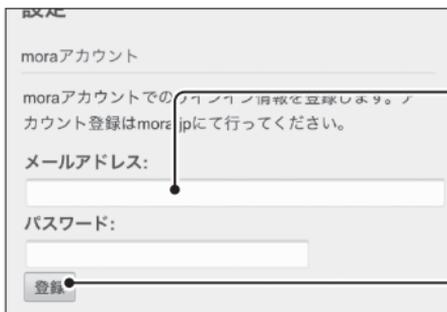
[mora] をタップする

6



[設定画面へ] をタップ
する

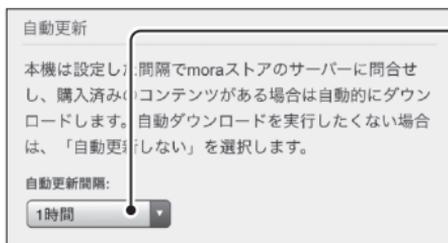
7



moraアカウントの情報を
入力する

[登録] をタップする

8



「自動更新間隔」を設定する

●Soundgenicに楽曲を入れる

1 moraのWeb サイトで楽曲を購入する

2 Soundgenicが楽曲を自動的にダウンロードする

※ 楽曲の購入は、「更新間隔」毎に確認されます。
Soundgenicの電源を入れたままにしておいてください。

すぐダウンロードしたい／ダウンロード状況を確認したい

fidata Music Appで操作して、ダウンロードを促すことができます。
また、同じ画面でダウンロードの状況もこの画面で確認できます。
詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。



これでSoundgenicに楽曲が入りました。

音楽CDから入れる

USB CD/DVD/BD ドライブをつないで、音楽CDの楽曲を Soundgenic に入れます。

● 用意するもの

- USB CD/DVD/BD ドライブ
- 音楽 CD

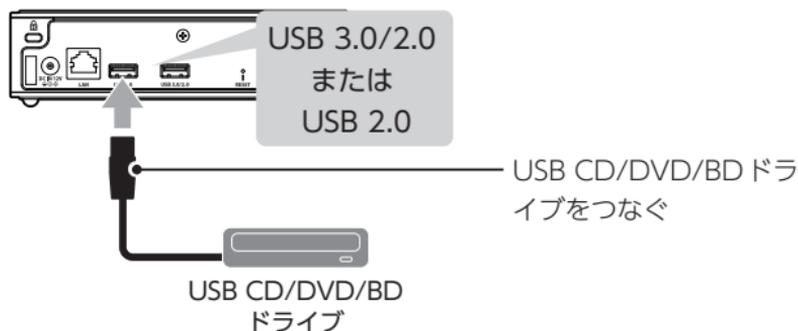
保存される内容

- 楽曲ファイルは、Soundgenicの以下の場所に保存されます。
contents > CD Library > [アーティスト名] > [アルバムタイトル] の中
- 楽曲は連番の後にタイトルが入って保存されます。(01 [曲名].wav など)
- 楽曲と同じ場所に「Folder.jpg」という名前のアートワークデータが保存されます。
 - ※ Folder.jpg は楽曲情報提供用です。パソコンなどで開いたり、コピーすることはできません。Soundgenic内の移動や削除はできませんので、お好みの構成に変更することができます。
 - ※ Gracenoteがアートワークを提供していない楽曲の場合は、Folder.jpgは保存されません。
- **Gracenote (グレースノート)**

音楽CDに関する情報データベースを提供するサービスです。

●手順

1



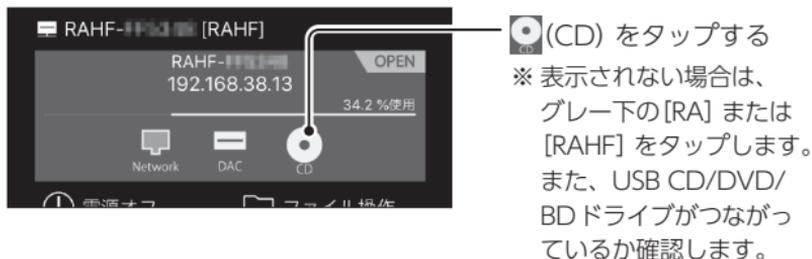
2 USB CD/DVD/BDドライブに音楽CDを入れる

3 fidata Music Appを起動する

4



5



6



「アルバム」「アーティスト」「アートワーク」を確認・編集するタップする
※ アートワークを編集するには、下の【編集】をタップします。

取り込む楽曲の形式を選ぶ方法

wav形式またはFLAC形式で保存されます(初期値wav形式)。
【オプション】をタップし、「データ形式」を設定してください。

一部の楽曲だけをリッピングする方法

【全て解除】をタップした後、リッピングしたい楽曲だけをチェックしてください。

7



【リッピング開始】をタップする
⇒ 音楽CDの取り込み(リッピング)が始まります。

リッピング途中で画面を閉じて問題ありません

リッピング作業はSoundgenicで引き続き実行されます。

取り込みに掛かる時間の目安

	音楽CDの取り込みに掛かる時間 ^{※1}	
	条件1 ^{※2}	条件2 ^{※3}
ドライブ A	8分38秒	8分40秒
ドライブ B	16分42秒	16分43秒

- ※1 70分5秒の音楽CDを使っています。数値はあくまで目安です。
お使いになるドライブやメディアによって異なります。
- ※2 AccurateRip:有効、リトライ処理:有効、読み込み速度:高速、
エンコード設定:WAV
- ※3 AccurateRip:有効、リトライ処理:有効、読み込み速度:高速、
エンコード設定:FLAC、圧縮:標準

• AccurateRip (アキュレートリップ)

音楽CDを正しく取り込んでいるかを、他の人の取り込み結果と照らし合わせて判断する機能です。

取り込み状況・結果

-  取り込み中：取り込み作業をしている
-  待機中：取り込みの開始を待っている
-  判定中：AccurateRipの判定、FLAC変換処理をしている
-  OK (青)：取り込みが完了し、AccurateRip も他者の結果と一致した
-  AccurateRip NG (金)：取り込みは完了したが、AccurateRip が他者の結果と一致しなかった
-  NG：取り込みに失敗した

8 音楽CDが排出されたら、音楽CDを取り出す

すぐに音楽CDが排出された／ランプが赤に光った

- すぐに音楽CDが排出され、ランプが**赤く**光っている
以下のどちらかが考えられます。
 - Gracenoteで楽曲情報が見つからず、音楽CDの取り込みを中止しました。Soundgenicがインターネットにつながっているかご確認ください。
インターネットにつながっている場合、音楽CDの楽曲情報がない状況です。その音楽CDを取り込みたい場合は、Soundgenicの設定画面の[USB CD/DVD/BDドライブ設定]にある「Gracenote 設定」>「未登録楽曲」を[取り込む]に設定してください。
 - Soundgenicの内蔵ディスク空き容量が不足しています。
音楽CDの取り込みには3.5GB以上の空き領域が必要です。
不要なファイルを削除してから再度お試しください。
- 音楽CDが排出された際に、ランプが**赤く**光っている
以下のどちらかが考えられます。
 - 音楽CDの汚れや傷などにより、取り込まれなかったトラックがありました。音楽CDの読み取り面をご確認ください。また、取り込まれなかった楽曲をご確認ください。
 - 取り込み中に、ユーザー操作で音楽CDが排出されました。

これでSoundgenicに楽曲が入りました。

USBメモリーやUSB HDDから入れる

USBメモリーやUSB HDDに保存されている楽曲をSoundgenicにコピーします。

●用意するもの

- ・楽曲が入ったUSBメモリーやUSB HDD

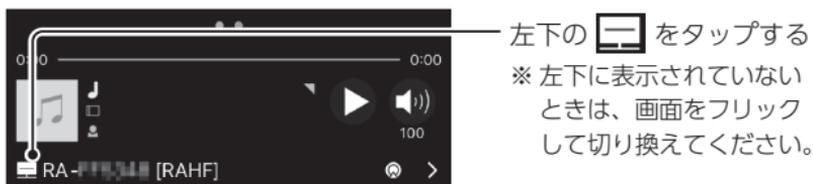
●手順

1



2 fidata Music Appを起動する

3



4



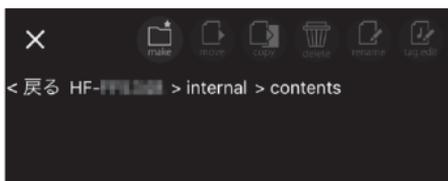
[ファイル操作] をタップする

※ グレー部分に情報がない場合は、グレー下の[RA]または[RAHF]をタップします。

5

楽曲を保存したい場所を表示する

※ 楽曲は「contents」フォルダーに入れます。contentsフォルダー内に保存用のフォルダーを作って整理するのをおすすめします。



保存するフォルダーを作る方法

 (make) をタップしてください。

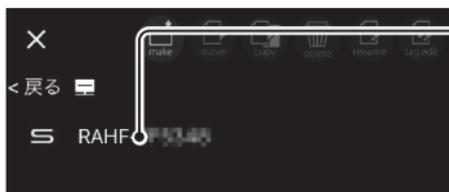
6

画面をスワイプし、もう片側のペイン(表示区画)を表示する

※ タブレットの場合、ペインが2つとも表示されますのでこの操作は不要です。

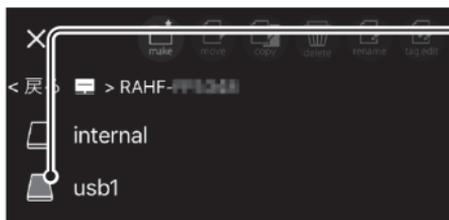


7



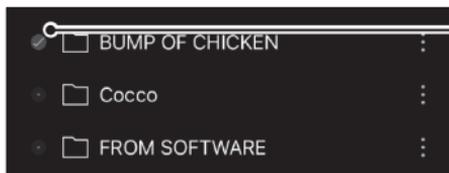
[RAHF] または [RA] を
タップする

8



[USB1 ～ 3] をタップす
る

9



コピーしたいUSB内の楽
曲やフォルダーをチェッ
クする

10



 (copy) をタップする

11



 (paste) をタップする

12 チェックした楽曲がコピーされます

これでSoundgenicに楽曲が入りました。

Windowsから入れる

WindowsからSoundgenicにアクセスし、お持ちの楽曲をSoundgenicにコピーします。

●用意するもの

- Soundgenicと同じルーターにつないだパソコン

「LAN DISK コネクト」をインストールする

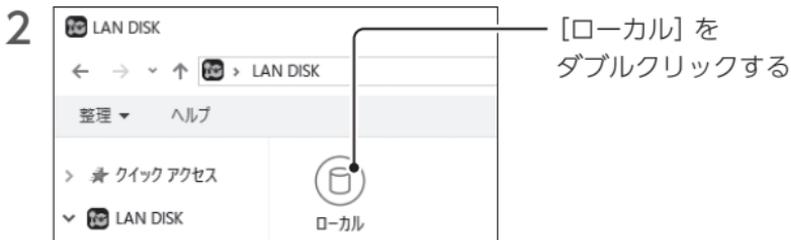
Soundgenicにアクセスするためのアプリです。

下のWebページにアクセスし、パソコンにインストールしてください。

<https://www.iodata.jp/lib/product/L/5160.htm>

●手順

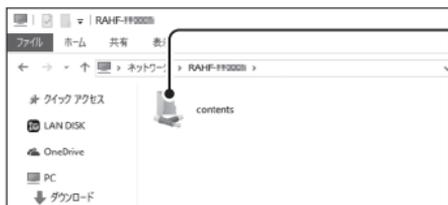
1 デスクトップ上の[LAN DISK] を起動する



RAが表示されない/グレー表示される

SoundgenicがつながっているWi-Fi ルーターにパソコンをつないでください。

4



「contents」フォルダーを
ダブルクリックする

contents以外のフォルダーについて

- usb1
USB HDD（共有用）内の楽曲です。
楽曲を保護するために読み取り専用です。パソコンにUSB HDD を
つないで楽曲を追加・削除してください。
- bkup
USB HDD（バックアップ用）内の楽曲です。

5 楽曲を入れる

楽曲は「contents」フォルダーに入れます。

contents フォルダー内のフォルダーについて

- CD Library
音楽CDをリッピングした楽曲が保存されます。
(CDリッピング機能利用時に作成されます。)
- import
USB HDD などから取り込んだ楽曲が保存されます。
(USB HDD などからの楽曲取り込み時に作成されます。)
- uploaded
他の DLNA 機器を操作して Soundgenic にアップロードした楽曲
が保存されます。

これでSoundgenicに楽曲が入りました。

macOSから入れる

Macに保存されている楽曲をSoundgenicにコピーします。

●用意するもの

- Soundgenicと同じルーターにつないだMac

「LAN DISK コネクト」をインストールする

Soundgenicにアクセスするためのアプリです。

下のWebページにアクセスし、Macにインストールしてください。

<https://www.iodata.jp/r/6603.htm>

●手順

1 「Finder」を起動する

2



[LAN DISK] をクリックする

[RA-xxxxxx] をダブルクリックする

RAが表示されない

SoundgenicがつながっているWi-Fi ルーターにMacをつないでください。

3



[contents] フォルダーを
ダブルクリックする

contents以外のフォルダーについて

- usb1
USB HDD（共有用）内の楽曲です。
楽曲を保護するために読み取り専用です。MacにUSB HDD をつないで楽曲を追加・削除してください。
- bkup
USB HDD（バックアップ用）内の楽曲です。

4 楽曲を入れる

楽曲は「contents」フォルダーに入れます。

contents フォルダー内のフォルダーについて

- CD Library
音楽CDをリッピングした楽曲が保存されます。
(CDリッピング機能利用時に作成されます。)
- import
USB HDD などから取り込んだ楽曲が保存されます。
(USB HDD などからの楽曲取り込み時に作成されます。)
- uploaded
他のDLNA 機器を操作して Soundgenic にアップロードした楽曲が保存されます。

これでSoundgenicに楽曲が入りました。

空き容量を確認する

Soundgenicの空き容量を確認します。

1 fidata Music Appを起動する

2



左下の  をタップする
※ 左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

3



空き容量が表示されます。
※ 情報が表示されていない場合は、グレー下の[RA]または[RAHF]をタップします。

Soundgenic内の楽曲を削除する

fidata Music Appのファイル操作で、楽曲を削除できます。
詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。



これでSoundgenicの空き容量が確認できました。

楽曲を再生する

詳細ガイド▶



fidata Music App で楽曲を再生します。

DAPのデータストレージとしてだけ使う方へ (ネットワークオーディオプレーヤーやUSB-DACを使わない場合)

ここでご案内している手順はネットワークオーディオプレーヤーかUSB-DACで楽曲を再生する手順です。DAPで楽曲を再生する場合は、【ウォークマン®など(DAP) と使う】(35ページ) の手順でDAPに楽曲を転送してください。

1 fidata Music App を起動する

2



「アーティスト」や「アルバム」などをタップし、再生したい楽曲を表示する

楽曲が見つからない場合

- 画面右上側にある  をタップした後、[Soundgenic] → [ミュージック] とタップしてください。
- 画面右上に  がいない場合、フリックでペイン(画面区分)を切り換えてください。
- Soundgenicの電源を確認してください。

3



楽曲をタップして、プレイリストに登録する
⇒ タップした楽曲は、右側（プレイリストペイン）に登録されます。

楽曲に登録できない場合

右下の  をタップして、レンドララー（プレーヤー）を選んでください。

4

画面をスワイプし、もう片側（プレイリストペイン）を表示する



※ タブレットの場合、ペインが2つとも表示されますのでこの操作は不要です。

5



楽曲の登録を確認する

登録した楽曲の順番を変える方法

楽曲名やアルバム名の右にある  をドラッグして、曲順を変更します。

楽曲の登録を削除する方法

- iOS版の場合
楽曲を左へフリックし、表示された[削除]をタップします。
- Android版の場合
楽曲を左端までフリックします。

楽曲の登録ルールを変える方法

-  (new) : タップした楽曲を再生します。他の楽曲はプレイリストから削除します。(楽曲リストで選んで再生する操作感)
-  (now) : タップした楽曲を、プレイリストの最後に登録します。また、登録した楽曲を再生します。
-  (next) : タップした楽曲を、プレイリストの現在再生中の楽曲の次に登録します。
-  (later) : タップした楽曲を、プレイリストの最後に登録します。(初期値)

プレイリストを保存する方法

-  (save) をタップすると、今のプレイリストをローカルプレイリストとして本アプリに保存できます。
詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。



6



最初に再生する楽曲を
タップする
⇒ 楽曲の再生が始まります。

7



楽曲情報をタップする

8



楽曲情報やアートワーク
が大きく表示されます
楽曲をお楽しみください。

元の画面に戻る方法

楽曲名のあたりをタップすると、元の画面に戻ります。

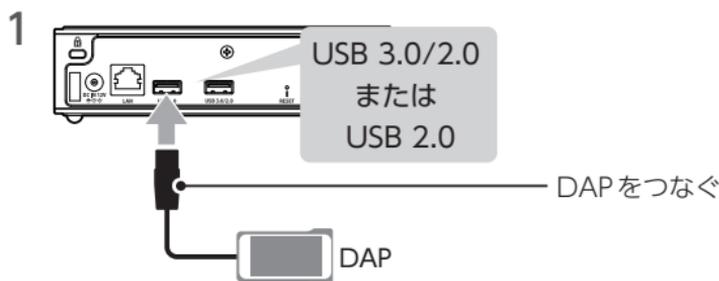
ウォークマン[®]など(DAP)と使う

fidata Music AppでSoundgenic内の楽曲 詳細ガイド▶
をDAPへ転送します。



ご注意：先に転送用の楽曲を入れる必要があります

Soundgenicに楽曲を入れる方法については、【楽曲を入れる】(11ページ)をご覧ください。



2 fidata Music Appを起動する

3



「アーティスト」や「アルバム」などをタップし、転送したいアーティストや楽曲を表示する

楽曲が見つからない場合

- 画面右上側にある [メニューアイコン] をタップした後、[Soundgenic] → [ミュージック] とタップしてください。
- 画面右上に [メニューアイコン] がない場合、フリックでペイン(画面区分)を切り換えてください。
- Soundgenicの電源を確認してください。

4



⋮ をタップする

5



[USBに転送] をタップ
する

6



(USB 機器が複数つながっ
ている場合) DAP を選ぶ
※ DAP によっては、本体メ
モリーと microSD スロッ
トで複数の USB 機器とし
て認識されます。

複数の USB 機器を見分ける方法

usb1 ~ 3 の中身を確認し、どの USB 機器なのか判断してください。
【USB メモリーや USB HDD から入れる】(23 ページ) を参考に、各
USB 機器 (usb1 ~ 3) の中身を確認してください。

7 楽曲が転送される

DAPで楽曲を再生して、お楽しみください。

転送の状況を確認する方法

詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。



転送先フォルダーを設定する方法

初期値では、DAPの「Music」フォルダーに楽曲を転送するように設定されています。

別のフォルダーに転送したい場合は、設定を変更できます。

詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。



Spotifyの音楽を楽しむ

Spotifyは世界中の多彩なジャンルの楽曲をインターネットを通じて利用できる音楽ストリーミングサービスです。

スマホ、タブレットをリモコンにして、SoundgenicにつないだUSB-DAC等からSpotifyの音楽を楽しめます。

詳しくは<https://spotify.com/connect>をご覧ください。



※ Spotify PremiumまたはSpotify Freeサービスに加入する必要があります。

※ スマホ、タブレットがSoundgenicと同じネットワークにつながっている必要があります。

※ SoundgenicのNetwork Rendererer設定が[OpenHome]である必要があります。

1 Spotifyアプリを起動し、楽曲を選んで再生する

2



 をタップする

3



[RA-XXXXXX[DAC名]]
をタップする

⇒ Soundgenicにつないだ
USB-DAC等からSpotify
の音楽を楽しめます。

※ SoundgenicにつないだUSB-DAC等からSpotify以外の楽曲を再生していた場合、この機能を使って再生を開始した時点で、再生中の楽曲は停止し切り替わります。

※ サービスの内容は予告なく変更されることがあります。

※ Spotifyソフトウェアは、<https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>にあるサードパーティライセンスの対象となります。



楽曲をバックアップする

Soundgenicの内蔵ディスクに入れた楽曲を、つないだUSB HDDにバックアップできます。

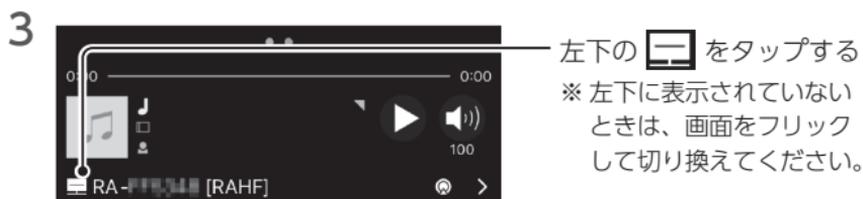
USB HDDをバックアップ用として登録する

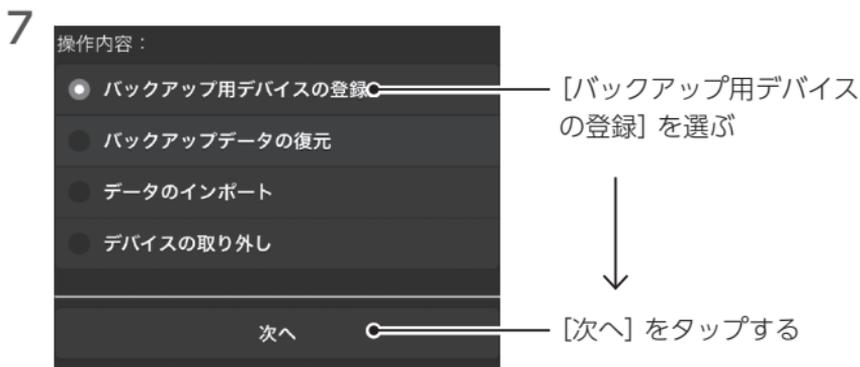
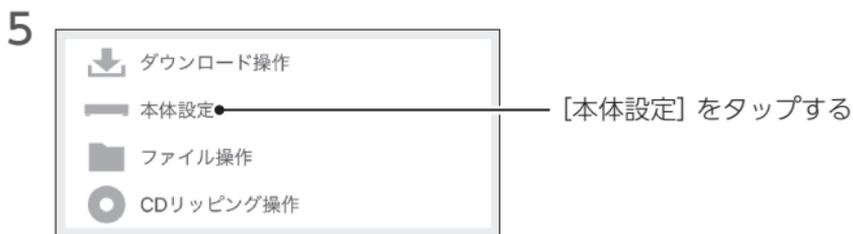
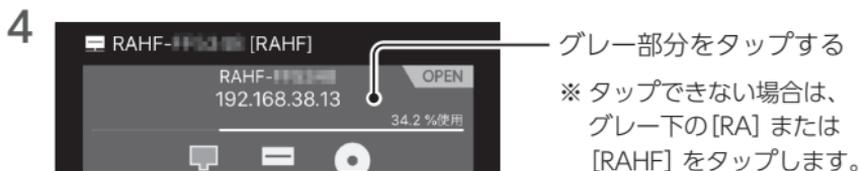


ご注意：この手順では、他のUSB機器をつながないでください

USB HDD（バックアップ用）は、バックアップ用に登録され、中のデータは消去されます。間違えて大事なデータを消さないよう、この操作でつなぐUSB HDDは1台だけにしてください。

2 fidata Music Appを起動する





8

バックアップ登録されていないUSBデバイスの接続を検出しました。
このUSBデバイスをバックアップ用として登録します。

注意： 登録を実行するとUSBデバイスはフォーマットされ、保存されているデータが削除されます。

登録

注意事項を読み、[登録]をタップする

9

バックアップ登録されていないUSBデバイスの接続を確認

接続されているUSBデバイスをフォーマットし、バックアップ用デバイスとして登録します。
本当によろしいですか？

はい

いいえ

[はい] をタップする

10

現在バックアップデバイスの登録中です。
バックアップデバイスの登録が完了するまで本製品の操作を行わないでください。

USB HDD が登録されるまで待つ

11

バックアップ用デバイスの登録に成功しました。
本装置へデータを保存すると、USBデバイスへのバックアップが随時実行されます。

本装置に保存したデータを削除したときは、バックアップ用デバイスからは自動で削除されません。

不要になったバックアップデータは、手動で削除してください。

[バックアップ用デバイスの登録に成功しました。]と表示されたことを確認する

これでUSB HDD はバックアップ用として登録されました。
今後USB HDD (バックアップ用) をつないでおくだけで、楽曲はバックアップされます。

USB HDD を取り外す

USB HDD は、Soundgenic の電源を切ってから取り外してください。
楽曲のバックアップのため、USB HDD (バックアップ用) を時折つないでください。差分がバックアップされます。

Soundgenic の電源を入れたままUSB HDD を取り外す方法については、
詳細ガイドをご覧ください。



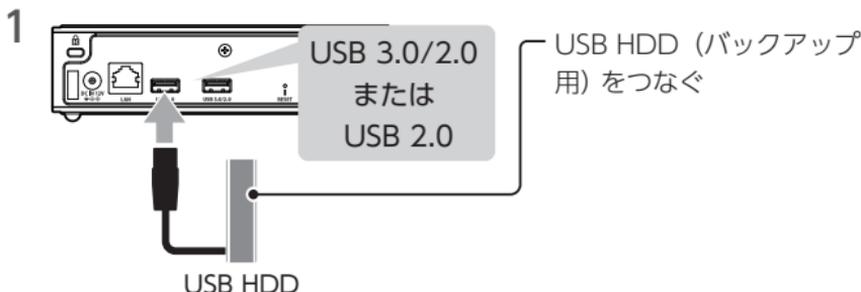
時折、バックアップした楽曲を整理してください

楽曲の追加・削除を繰り返していると、USB HDD (バックアップ用) の容量が圧迫されてきます。

詳細ガイドの「楽曲ファイルを削除する」をご覧ください。[bkup] フォルダ内の不要な楽曲を削除してください。

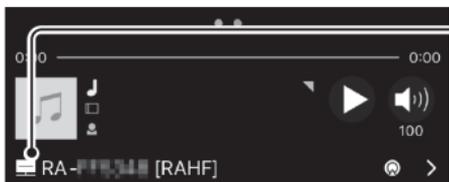
USB HDD (バックアップ用) がいっぱいになると、ランプが赤く点灯し、バックアップできなくなります。

USB HDD (バックアップ用) から楽曲を復元する



2 fidata Music Appを起動する

3



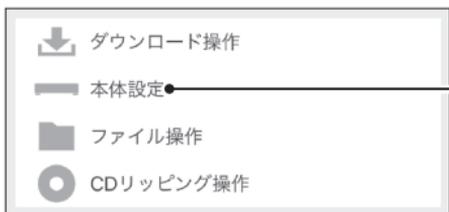
左下の [RAHF] をタップする
※ 左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

4



グレー部分をタップする
※ タップできない場合は、グレー下の [RA] または [RAHF] をタップします。

5



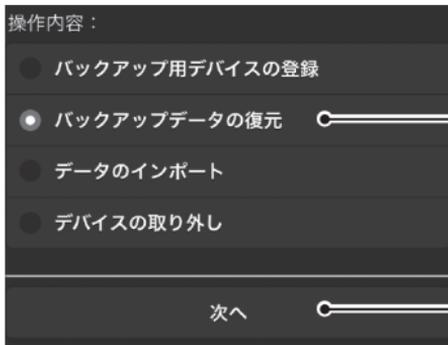
[本体設定] をタップする

6



[USBデバイス操作] をタップする

7

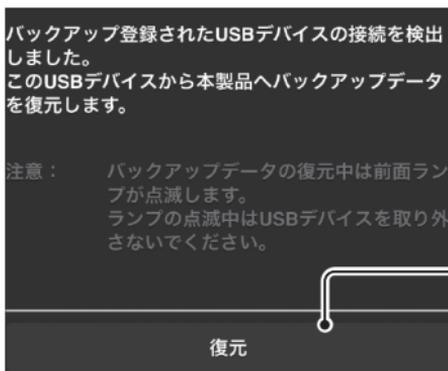


[バックアップデータの復元] を選ぶ



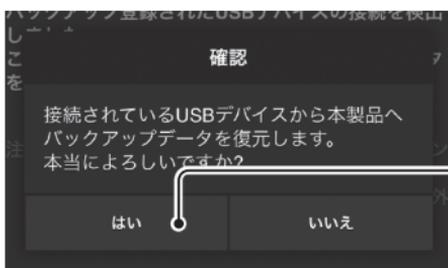
[次へ] をタップする

8



注意事項を読み、[復元] をタップする

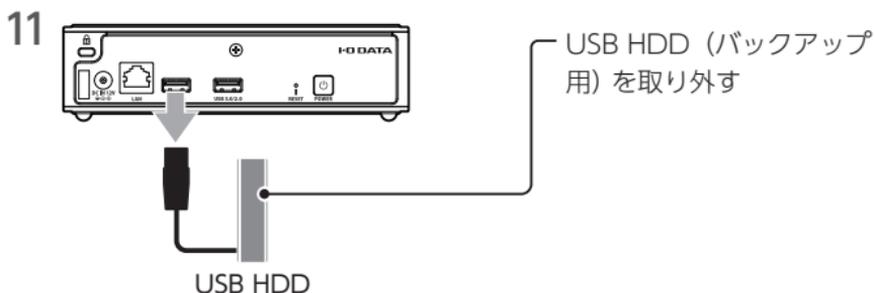
9



[はい] をタップする
⇒ 楽曲の復元が始まります。



ランプが点滅するので、
点灯に戻るまで待つ
※ ランプの点滅中には、
USB HDD を取り外さな
いください。



バックアップを続けたい場合

一度USB HDD (バックアップ用) を取り外した後、もう一度つなぎなおしてください。

これで楽曲は復元されました。

動作環境 / 仕様

詳しくは、弊社Webページから商品ページをご覧ください。

1 弊社Webページを開く

<https://www.iodata.jp/>



2 左上の検索欄で商品の型番を入力して検索する



3 検索結果から、商品ページを開く

4 仕様ページを開く

お守りください

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼危険・警告・注意表示

 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

 禁止
 指示を守る

警告

 **本製品を修理・改造・分解しない**
発火や感電、やけど、故障の原因になります。

 **雷が鳴り出したら、本製品やACアダプターに触れない**
発火や感電、やけど、故障の原因になります。

 **本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**
発火の原因になります。

 **本製品内に異物(液体・金属等)を入れない**
コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が本製品内部に入らないようにしてください。特に、天面コネクタに異物を差し込まないでください。感電や発火の原因になります。

 **故障や異常のまま、つながない**
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

 **煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐに使うのを止める**
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

 **本製品の小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない**
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

 **本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてからおこなう**
感電の原因になります。

 **ぬらしたり、水気の多い場所で使わない**
水や洗剤などがかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上には置かないでください。
- 万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わないでください。

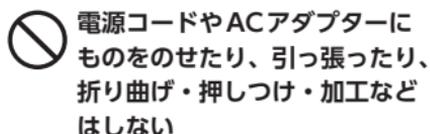
▼ 電源(ACアダプター・コード・プラグ)について

 **ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない**
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

 **じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない**
発火の原因になります。

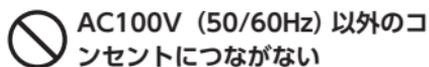
 **添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない**
発火や感電の原因になります。添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

 **熱器具のそばに配線しない**
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

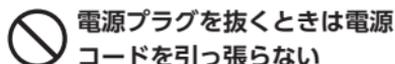


電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。

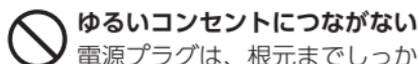
電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。



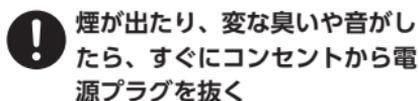
発火、発熱の恐れがあります。



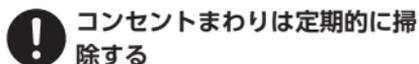
電源プラグを持って抜いてください。電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。



電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

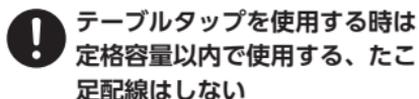


そのまま使うと発火・感電の原因になります。



長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)

定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。



テーブルタップの定格容量(1500Wなどの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

注意

-  **本製品を踏まない**
破損し、けがの原因になります。
特に、小さなお子様にはご注意ください。
-  **人が通行するような場所に配線しない**
足を引っ掛けると、けがの原因になります。
-  **長時間にわたり一定の場所に触れ続けない**
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。
長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起すおそれがあります。

使用上のご注意

【重要】定期的にバックアップしてください

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。

本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

※ バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD、BD/DVDなど)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。) 万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

お手入れ方法

本製品について汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

【重要】譲渡・廃棄の際のご注意

- 情報漏洩などのトラブルを回避するために、システム初期化時の内蔵ディスク完全消去等を利用し、データを完全消去してください。
 - ※ HDD上の楽曲について
HDD上の楽曲などを削除することなくHDDを譲渡すると、著作権法に抵触する場合があります。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

- ・ Soundgenicの内蔵ディスクに非常に多くのデータが書かれている場合、Soundgenicの起動時間が通常より数分長くなる場合があります。
- ・ ランプ点滅中に電源コードを抜いたり、Soundgenicの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

困ったときには

【重要】最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

※ インターネットにつないでいると、自動的に最新版を入手する機能があります。下の【前面のランプがオレンジに点灯している】をご覧ください。

前面のランプがオレンジに点灯している

- **Soundgenicの新しいバージョンを検出しています。**
Soundgenicの電源を切り、もう一度電源を入れてください。
Soundgenicが最新の状態にアップデートされます。

RA-xxxxxxが表示されない

- **スマートフォン/タブレット/パソコンがSoundgenicと同じネットワークにつながっていません。**
スマートフォン/タブレット/パソコンを、Soundgenicをつないだルーターにつないでください。

前面のランプが赤く点灯している

- **バックアップ先のUSB HDD の容量が足りないことが考えられます。**
バックアップ先(bkupフォルダー) にアクセスし、不要なファイルを削除してください。
【Soundgenic内の楽曲を削除する】(30ページ) 参照。
- **バックアップ先のUSB HDD に問題が発生していることが考えられます。**
USB HDDが正しくつながっているかご確認ください。
正しくつながっている場合、USB HDDの故障のおそれがあります。
また、はじめてつなぐUSB HDDは、Soundgenicでフォーマットしてください。
- **Soundgenic内蔵ディスクに問題が発生していることが考えられます。**
USB HDD を取り外した後、Soundgenicの電源を切り、また電源を入れてください。
起動完了後に前面のランプが赤点灯する場合は、内蔵ディスクに問題が発生しています。サポートセンターにお問い合わせください。
【アフターサービス】(57ページ) 参照。
- **音楽CDを取り込み中の場合、取り込みに問題がありました。**
【すぐに音楽CDが排出された／ランプが赤に光った】(22ページ) 参照。

音楽CDから取り込んだ楽曲に楽曲情報が付与されていない

- **Gracenoteで楽曲情報が見つからなかったが、楽曲を取り込みました。**
楽曲情報が見つかったときだけ楽曲を取り込むようにしたい場合は、設定画面の[USB CD/DVD/BDドライブ設定]にある「Gracenote 設定」>「未登録楽曲」を「取り込まない」(初期値)に設定してください。

USB-DACから楽曲を再生していると、ノイズや音の途切れが発生する

- **高レートの楽曲を再生しているためです。**

USB-DACをUSB 2.0ポートにつないでいる場合、USB 3.0/2.0ポートにつなぎ変えることで改善される場合があります。

ギャップレス再生ができなくなった

- **システムの負荷が一時的に高まっています。**

メディアサーバーのデータベース構築や設定変更などはシステムの負荷が高まります。これらの作業が終わるまで待つて再生してください。

メディアサーバーのデータベース構築の発生タイミング例

- 楽曲追加時
- USB HDDの抜き挿し直後
- 起動直後
- 音楽CD挿入時(CDトランスポート機能時)
- 各種設定変更後
- USB HDDからの楽曲取り込み時
- メディアサーバー設定内の以下項目を実行時
サーバを再起動、コンテンツフォルダの再スキャン、デフォルトヘリセット

データベース構築中かどうか確認する

[メディアサーバー設定] → [ステータス] でご確認ください。

アフターサービス

【重要】

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- **【困ったときには】を参照**
- **サポートページのQ&Aを参照**
- **最新のソフトウェアをダウンロード**

<https://www.iodata.jp/p/166273>



※ URL はHDL-RA2HF のものですが、リンクされている内容は Soundgenic共通です。



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：**050-3116-3015**

9:00～17:00

月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

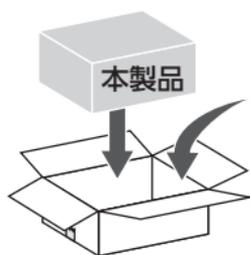
メール：**<https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm>**



<ご用意いただく情報>

製品情報（製品名、シリアル番号など）、端末の情報（型番、OSなど）

以下を梱包し、修理センターへお送りください



レシート、納品書
など購入日を示すもの
または保証書



メモ

・名前・住所・TEL/FAX番号
・メールアドレス・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- ※ 厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
- ※ 紛失をさけるため宅配便でお送りください。
- ※ 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【データ】

内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

【見積無料】

有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。

【シール】

お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。

【保証内容】

ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】

製品名とシリアル番号 (S/N) はお手元に控えておいてください。

【修理について詳しくは】

以下の URL をご覧ください (修理依頼書はここから印刷できます)。

<https://www.iodata.jp/support/after/>

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より 1年間 無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

- 1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 中古品でご購入された場合
- 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
- 6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【ユーザー登録はこちら】・・・<https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしておいてください。

シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。

(例：ABC1234567ZX)

【使用ソフトウェアについて】

- ・ 本製品には、GNU General Public License Version3 (GPLv3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。変更済みGPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下の Web ページをご確認ください。

<http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html>

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

- ・ 本製品には、OpenSSL Project が、OpenSSL Toolkit(<http://www.openssl.org>) での使用のために開発したソフトウェアが含まれています。本製品にはEric Young(eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
本製品にはTim Hudson(tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。

【マニュアルアンケートはこちら】

よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。



進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

ホームページ <http://www.iodata.jp/>

I-O DATA